

難病プラットフォーム 公開シンポジウム 第1回

難病プラットフォームは日本医療研究開発機構(AMED)および厚生労働省の難病研究班を対象とした情報基盤を構築するAMEDの研究プロジェクトです。より質の高い難病情報の集約や二次利用の促進を通じて、難病研究の発展を目指します。

日時 2019年3月2日(土) 14:00~17:45

会場 日本橋ライフサイエンスハブE会議室
 東京都中央区日本橋室町1-5-5 室町ちばぎん三井ビルディング8階
<http://www.nihonbashi-lifescience.jp/hub/>

定員 先着200名様

申込 以下のサイトよりお申し込みください

https://gakujutsushukai.jp/nanpla-symposium2019/participation_1/participations

プログラム

14:00	開会挨拶	泉 陽子 (日本医療研究開発機構研究統括役) 田中 彰子 (厚生労働省健康局難病対策課課長補佐)
14:10	難病プラットフォームの取り組みについて	
	難病プラットフォームの取り組みと展望	松田 文彦 (京都大学ゲノム医学センター教授)
	連携研究班1	岡崎 和一 (関西医科大学内科学第三講座教授)
	連携研究班2	戸口田 淳也 (京都大学ウイルス・再生医科学研究所教授)
	連携研究班3	荻 朋男 (名古屋大学環境医学研究所教授)
15:25	クリニカルイノベーションネットワークの取り組みと難病プラットフォームとの連携	武田 伸一 (国立精神・神経医療研究センター理事)
15:50		休憩
16:00	中央倫理審査制度の推進にむけて	
	中央治験審査委員会・中央倫理審査委員会基盤整備事業について	土江宜子 (日本医療研究開発機構臨床研究課課長代理)
	京都大学医の倫理委員会の取り組み	小杉 眞司 (京都大学医療倫理学・遺伝医療学教授)
	中央倫理審査制度の活用	成瀬 光栄 (国立病院機構京都医療センター臨床研究センター特別研究員)
16:40	海外の取り組み	
	European Platform on Rare Disease Registration	Ciarán Nicholl (Director, European Commission General Joint Research Centre)
17:05	ゲノム情報への取り組み	
	RD-Connect	Ivo Gut (Director, Centro Nacional de Análisis Genómico, Centro de Regulación Genómica (CNAG-CRG))
	臨床ゲノム情報統合データベース事業の取り組みと難病プラットフォームとの連携	徳永 勝士 (東京大学大学院医学系研究科人類遺伝学分野教授)

主催：AMED難病プラットフォーム研究班